

ようご かいせつ
用語の解説

- 木本 もくほん 木質の茎（木幹）を有する植物です。
- 草本 そうほん 植物の地上部が柔軟で木質をなさないものの総称。俗に草と称するものです。
- シダ植物 しやくぶつ 苔植物と裸子植物との中間に位置し、胞子で繁殖する植物です。
- 一年生(草本) いちねんせい そうほん 春に発芽し夏から秋に開花結実してその年のうちに枯死する草のことで
- 多年生(草本) たねんそう そうほん 2年以上にわたって生育し、毎年開花結実する草のことで
- 低木 ていぼく 低い木。樹木のうち、幹は細く根際から束生し主幹と側枝とのくべつが不明瞭なものです。（オキナワシャリンバイ、サキシマツツジなど）
- 高木 こうぼく 高い木。主幹と側枝との区別がおおむね明らかかなものです。（サキシマスオウノキ、ガジュマル、サガリバナ、フクギ、テルハボクなど）
- 小高木 しょうこうぼく 低木や高木になるものをいいます。（フトモモ、オオハマボウ、ギョボク、ハマイヌビワ、アカメイヌビワなど）
- 常緑樹 じょうりよくじゆ マツのように、葉が形成されてから1年以上落ちないで、年中緑葉が付いている樹木の総称です。常緑樹の葉も形成されてから2-3年で枯れて落ち、新葉と入れかわります。
- 落葉樹 らくようじゆ 1年以内で葉が枯れて落葉し休眠状態に入る時期のある樹木の総称です。
- 広葉樹 こうようじゆ ツバキなど扁平な葉をもった樹木のことで
- 針葉樹 しんようじゆ マツなど細く尖った葉をもった樹木のことで
- 雌雄異株 しゅういかぶ 雌花をつける株と雄花をつける株が異なることです。
- 雌雄同株 しゅうどうかぶ 雌花と雄花が同じ1本の株につくことです。
- 葉身 ようしん 葉柄の先につく広い部分をいいます。
- 葉軸 ようじく 葉の軸のこと、葉柄の延長した部分をいいます。
- 葉の縁 は ふち 葉の側面のこと。滑らかな縁や、ノコギリの歯のようにギザギザしたものが

